

委員会提出議案第7号

安全・安心の医療・介護の拡充を図るため医師・看護師等の大幅増と労働環境の改善を求める意見書の提出について

安全・安心の医療・介護の拡充を図るため医師・看護師等の大幅増と労働環境の改善を求める意見書を別紙のとおり提出するものとする。

平成23年12月14日提出

秦野市議会文教福祉常任委員会
委員長 神倉寛明

提案理由

医師や看護師等の不足が深刻化しているため、安全・安心で行き届いた医療・看護・介護の拡充を図るよう、国に意見書を提出するものであります。

安全・安心の医療・介護の拡充を図るため医師・看護師等の大幅増と労働環境の改善を求める意見書

平成23年6月17日付けの厚生労働省通知「看護師等の雇用の質の向上のための取り組みについて」では、看護師等は、夜勤を含む交代制勤務等により、厳しい労働環境に置かれているものも多く、質の高い医療・介護サービスを安定的に提供できる体制を実現するためには、必要な人材の確保を図りながら、看護師等が健康で安心して働ける環境を整備し、雇用の質を高めることが、喫緊の課題であるとしている。

また、地域医療機関においても、医師・看護師不足により、病棟閉鎖や休床数の増加など深刻な問題も発生しており、持続可能な医療提供体制や医療安全の確保のためにも、医療・社会保障予算をふやし、医師や看護師等の大幅増を図るとともに労働環境の改善が必要である。

したがって、国においては、安全・安心で行き届いた医療・看護・介護の拡充を図るための必要な措置を講じるよう強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年12月14日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣 様
財務大臣
厚生労働大臣

秦野市議会議長 高橋 照雄